



さんさんキッズだより 2月 2021.2月

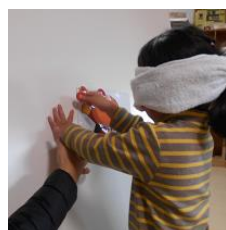


可逆-2 「～ではなく～」

前号で可逆を紹介しました。可逆は成長のステージごとでいろんな形をとって現れます。前号では、生後6か月過ぎに現れる左右への寝返りの例をあげましたが、移動ができるようになる1歳前後は、頭からベッドを降りようとして周りをハッとさせることがよくあります。しかしその後半年もすると、身体を回転させて足から降りようようになります。降りたい気持は同じでも、1歳半を過ぎると、頭から「ではなく」足から…と身体を回す調整の気持ちが生まれます。この頃には、公園のすべり台をみつけると、そのままスロープの下から上「ではなく」、後ろにある階段を目指すようになります。ベッドを足から降りるのと同じように、目の前の目的に向かって直線的ではない調整のある行動のし方を身に付けます。

では、このような行動の調整への気づきは、どうやってこどもの内面に沸き出てくるのでしょうか？

「～ではなく～」が始まる一つ前のステージのこどもは、クレヨンを使ってなぐり描きを始めたり、食事の道具におさじが登場したり、積み木の上に積み木を重ねたり、お砂をお碗やコップに入れっこしたりと、物を手段（道具）的に使うことが多くなります。同じころ、単語や指さしも芽生えます…「紙とクレヨン」、「ごはんとおさじ」、「積み木と積み木」、「物と声」、など、目に映る2つの物と物（音声）との関係の一つに組み合わせる経験をしっかり積み重ねることで、2つのイメージを同時に気持ちの中に位置づける力が育ちます。心の中が一つのイメージでいっぱいであれば、気持ちは「～だ」ということになり直線的な行動が先立ちます。この心に抱ける2つのイメージと、「〇〇したい」という意欲とが重なって、「～ではなく～」という調整の気持ちが誕生します。



おちないように
ぞーっと...

1月のおたんじょうび

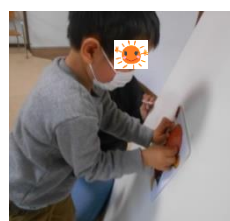
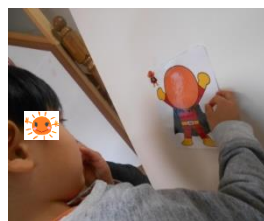
Cくん
4さい



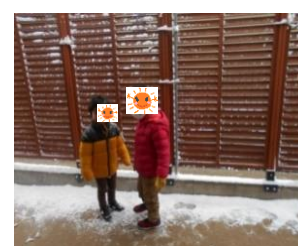
Aくん
6さい



お正月あそび: 福笑い



雪がふったよ♪

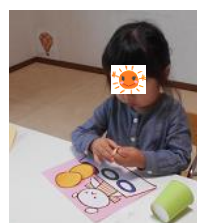


製作あそび

風づくり



こぐまちゃんのホットケーキ



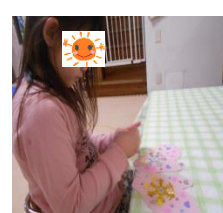
かわいい年賀状
ありがとうございました♪



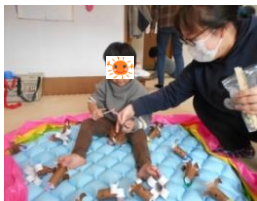
サンドイッチイメージ



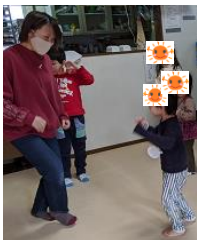
サンドイッチ
美味しい♡



タコ釣りゲーム



サーキットあそび



おあつまい



絵馬づくり



獅子舞



鬼さんのサンバイザー



鬼のお面をつくったよ♪



歌わけ



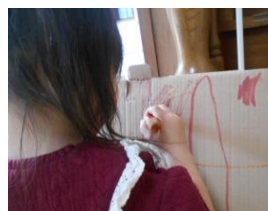
かたちとマークのふりわけ



色のマッチング



段ボール ペイント



☆1月のできごと☆

椅子を一行に並べてバスごっこをしました。みんなで、歌ったいして大盛り上がり♪それを見ていたお友達が、参加したように近づいて見ていましたが入るのは嫌がっていました。「駅員さんになってバスの人にお弁当あげたら？」と提案すると「うん！」と言い、笑顔でみんなにお弁当を配り、お友達の輪に入っていきれました。どう入れば？と戸惑いの気持ちに「役わり」がお尻を押してくれました。

友だちのとの輪・集団の中に入っていくことに、どうしたらいいのか思いつけず、戸惑いや不安がある時、無理やりではなく、その子の気持ちに寄り添い、どうしたら楽しく入れるかを考えることで、上手くいった時は、こどもにも私たちにも共通の自信となります。自分の意思でやれた楽しさは、その後の大きな意欲につながるだろうと思います。

☆3がつの活動☆

製作あそび(蝶々・蜂・おはななど)

…手先を使って遊ぼう。季節にあったものを作って遊ぶ。

お口あそび

…ストローを使って吹いて、遊んでみよう

お別れ会

…卒業するおともだちと一緒に楽しく過ごす

進学・進級に向けて楽しみをもつ



バランスあそびがトレンド



段ボールのあうち